

学習課題

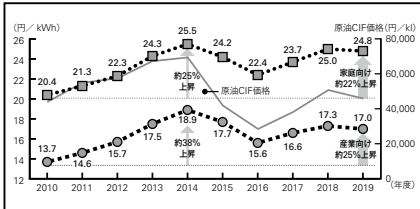
環境・エネルギーでは、持続可能な社会に向けてどのような取り組みが必要なのだろうか

3年 組 番 名 前

1. 2010年から2019年にかけて、電気料金はどのように変化しただろうか。

◎資料A 電気料金平均単価の推移

○2010年から2019年まで



(記入例)

- ・家庭向け電気料金が、約22%、産業向け電気料金が、約25%上がっている。
- ・原油の価格と連動して、電気料金変動している。

2. 電気料金の上昇が、私たちの暮らしに、どのような影響をあたえているのだろうか。

- 家庭向けの電気料金が、月10,000円だと、2010年から2019年の9年間で約2,200円電気料金が上昇したことになる。
- 産業向けの電気料金が上昇することで、私たちの暮らしにどのような影響があるだろうか。

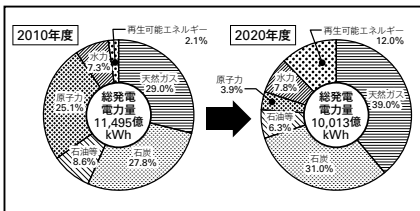
(記入例)

電気料金が上がった分だけ、企業が負担することになる。企業が負担しきれなくなると、商品やサービスの価格に上乗せされて、消費者が負担することになる。

3. 東日本大震災以降、電気料金が上昇したのはなぜだろうか。

2010年度と2020年度の発電用エネルギー資源の変化から考えてみよう。

◎資料B 発電用エネルギー資源の変化



◆石炭・石油・天然ガス(化石燃料)

2010年(65.4)% → 2020年(76.3)%

◆原子力

2010年(25.1)% → 2020年(3.9)%

◆再生可能エネルギー(水力含まず)

2010年(2.1)% → 2020年(12.0)%

○発電用エネルギー資源が変化したことで、電気料金が上昇したのは、なぜだろうか。

(記入例)

- ・震災の影響で原子力発電所が利用できなくなったから。化石燃料の輸入に費用がかかるから。
- ・電気料金に「再生可能エネルギー発電促進賦課金」が含まれるようになったから。

4. 3E+Sの視点とSDGsの視点で、発電用エネルギー資源を、どのようにしていくべきだろうか。

これまで学習したことをふまえて、自分の考えを書き出してみよう。

3E+Sの視点	環境の視点… (例) 再生可能エネルギーをもっと増やすべきだ。
	経済性の視点… (例) 安全性に配慮して原子力エネルギーを適切に活用するべきだ。
	安定供給の視点… (例) どのエネルギーもバランスよく増やすべきだ。
	安全性の視点… (例) 震災などの大きな自然災害に強い設備にするべきだ。
SDGsの視点	自分たちができること… (例) 現世代で資源を枯渇させず、将来の世代に費用負担をさせない。